

本プロジェクトで目指す里山の未来図

『つくる・つかう・つながる』を連動・循環させ、地域に『3つの大きな希望』を実装することで、地域の持続的な発展を目指します。それぞれの要素は、独立しているのではなく、グラデーションのように重なり合うことで、さらなる価値を創出していきます。

里山づくりの概念全体マップ



里山を「守る」から、「活かす」へ

「自然」と「人」が、もう一度つながる場所



多古町×イオン

里山プロジェクト 始動

イオンと地域連携協定を締結

町とイオンは、地域の里山の再生と地域価値の創出を一体で進める「多古町イオンの里山プロジェクト」を発足し、4月2日(木)に旧興新小学校を会場として、町、イオン株式会社、公益財団法人イオンワンパーセントクラブ、公益財団法人イオン環境財団の4者で地域連携協定を締結しました。

当日は、地域の皆さんにご参加いただき、桜の記念植樹や周辺の「いきもの調査」を行いました。天気は、あいにくの雨でしたが、参加した子どもたちは熱心に校庭を散策してさまざまな「いきもの」を見つけ、高津原に息づく生き物たちの生命の鼓動を感じることができました。



(左から)公益財団法人イオンワンパーセントクラブ 渡邊理事長、イオン株式会社 岡田執行役、平山町長、公益財団法人イオン環境財団 山本専務理事

町には田園や森林などの豊かな「里山環境」が大切に残されていますが、一方で、時代の変化とともに現在では農業の担い手不足、森林の荒廃が進んでおり、農地や森林の適切な管理や維持が困難となっていることが大きな課題です。

このような課題をイオンと共有し、協定締結を大きな第一歩として、町の豊かな自然資源を次世代へと引き継ぎ、新たな「里山のかたち」を地域の皆さんと共に目指していきます。

未来へつなぐ桜を植えよう！

桜の記念植樹

協定締結を記念して、里山に根づくよう新しい桜が植えられました。参加者みんなで力を合わせて苗木を植え、自然と人とのつながりを育む大切な一歩となりました。



高津原にすむいきものを見つけよう！

いきもの調査

子どもたちがいきものビンゴに挑戦。耳をすませ、目をこらし、探検しながらいきものを探しました。



多古米を味わおう！

おにぎり試食会

農薬不使用で育てられた多古米コシヒカリを使用したおにぎりが提供されました。

